

〔様式1〕 平成19年度 事務事業評価表						
記入年月日	平成19年5月11日		記入者		連絡先	460
平成18年度部名	土木部		課名	津久井建設課	課長名	平本 悟
平成19年度部名	土木部		課名	津久井建設課	課長名	平本 悟
事務事業名	廃道路敷等測量事業					
予算上の事務事業名	廃道路敷等測量委託事業					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	32320		
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして					
政策名	第2章 質の高い都市基盤の整備を進めます					
基本施策名	第3節 円滑な道路交通の確保					
施策名	第2施策 道路管理の充実					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等						
3 個別計画の概要				概要		
計画名						
計画年次		年度～		年度		
4 事業形態の区分			▼	5 事業開始年度		▼
6 事業概要						
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)					(2) 対象(誰、何)	
原則は廃道路敷要望者に面積測量を行い、確定後処分を行っているが、一部では測量を含め市側に依頼されるため、それに対応するもの。					廃道路敷要望者	
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
廃道路敷の処分に伴う測量、地積測量図作成委託						
18年度 3件 493㎡						
7 関連事業・類似事業又は他市の状況						
8 事業費の推移 <span style="float: right;">〔単位：千円〕</span>						
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	0	0	1,502	3,200	3,200	
一般財源	0	0	1,502	3,200	3,200	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	0	0	402	402	402	
事業コスト合計	0	0	1,904	3,602	3,602	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 (主たる事業名)	地積測量図作成			対象名称 と単位	件数	
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)	0	0	1,904	3,602	3,602	
対 象 数	0	0	3	6	6	
単位あたり経費(円)	#DIV/0!	#DIV/0!	634,667	600,333	600,333	
前 年 度 比			#DIV/0!	0.95	1.00	
10 活動指標・・・実施した内容(活動)を数値化したもの						

指標名と単位	地積測量図面作成		指標式と指標の説明	委託実施件数 / 委託予定件数		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
実績	0.0	0.0	3.0			
目標	0.0	0.0	3.0	6.0	6.0	
目標達成度(%)	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0			
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの						
指標名と単位	地積測量図面作成		指標式と指標の説明	委託実施件数 / 委託予定件数		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
実績	0.0	0.0	3.0			
目標	0.0	0.0	3.0	6.0	6.0	
目標達成度(%)	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0			
1 2 個別評価						
(1) 妥当性の評価 [A: 妥当である・B: 妥当性に課題がある・C: 妥当でない]						
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。				
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必要性が高い事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。				
(2) 有効性の評価 [A: 有効である・B: 有効性を高める余地がある・C: 有効でない]						
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。				
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。				
(3) 効率性の評価 [A: 効率が良い・B: 効率性を高める余地がある・C: 効率が悪い]						
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。				
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。				
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性 [有・無]						
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。				
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。				
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。				
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。				
1 3 総合評価(一次評価)						
(1) 自動判定結果						
	[ ] : 良好な状態を維持する事業					
	[ ] : 概ね良好な状況である事業					
	[ ] : 見直しを行う必要がある事業					
	[ ] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業					
(2) 事業所管課長による評価(今後の方向性)			(3) 事業所管課長の評価に関する説明			
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実				
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持				
	<input type="checkbox"/>	・見直し				
	<input type="checkbox"/>	・廃止				
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと			
			事務の一元化による本庁での一括処理の検討			
1 6 二次評価						
(1) 局内評価会議による評価(今後の方向性)			(2) 二次評価コメント			
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実				
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持				
	<input type="checkbox"/>	・見直し				
	<input type="checkbox"/>	・廃止				
			・事業の実施及び内容について特に問題がなく、現状維持とする。			